

## 企業概要

# 株式会社関・空間設計

仙台市青葉区本町 2-1-8 第一広瀬ビル 9F

事業内容：建築設計・監理業務・コンサルタント業務

従業員：30人 / 男性22人 女性8人(令和6年7月1日現在)



## Report

# 互いに支え合い、理解し合うことで、より良い家庭生活と職場環境を築く

### 宣言

- 男性の育児休業・出生時育児休業取得率**100%**
- 男性の育児休業取得期間、平均**1か月以上**
- 女性の育児休業取得率**100%**



## 企業の課題

- 1 該当事例が無い  
長期育児取得者の不在
- 2 仕事内容の調整  
長期のプロジェクト期間
- 3 育児の在り方  
社会的・個人的立場の違い

## 取組

- 先行事例として  
今後、取得される方の先行事例になること。会社の後押しもあり、取得を決められたので、そうした環境を保持する。
- 育児の取得方法に工夫  
育児の取り方に関して「育休」「有休」「在宅ワーク」の3つを組み合わせ、仕事をしながら育児を取るという新しいバージョンを構築。社内には様々な選択肢があるので工夫する。
- 課題解決のプロセスを踏む  
育休といっても経営者サイド(社会的立場)と各家庭サイド(個人的立場)では見方は異なり、また、各個人の状況も様々。その課題を検討するプロセスを大切に取組む。

## 男性育休のミカタ

### 社会保険労務士から

AAO 社会保険労務士事務所  
社会保険労務士  
伊藤 弘樹さん

## 男性育休をきっかけにより魅力的な組織へ

モデル企業として関わる前から既に男性育休の実績もあり、在宅ワーク制度や、育児・介護規程も整備されており、総務のレベルが高いワークライフバランスのしっかりした会社という印象でした。支援を通じて社内風土醸成の研修会を実施したり、休業中のフォロー従業員への手当の創設など、男性育休をきっかけに、より魅力的な組織づくりが実現されています。



## 令和6年度男性育休取得 チャレンジ企業創出事業

男性従業員が育休を取得しやすい職場環境づくりを進めようとする市内中小企業数社をモデル企業に選定し、専門家(社会保険労務士)派遣等によるサポートを行います。

### 育休取得経験者

設計管理部リーダー  
三浦 高史さん

期間/6日(3回に分けて取得)

## 育休の取り方、時間の使い方に工夫を

私は「育休」「有休」「在宅ワーク」という3つを組み合わせ、仕事をしながら育休を取得しました。休日の取り方、時間の使い方は工夫次第ですので、そのやりくりが大事です。初産の時、私の支えがなく、妻から精神的に辛かったという話があり、二度目の今回は育休を取る必要性がありました。家族と一緒にいる時間が作れてよかったと思います。



## 一つの先行事例として 育休が取れて幸せ

これまでに長期の育休を取った人がいなかったことが不安材料でした。しかし、今後の一つの先行事例になればと考え、また、会社の後押しもあったので取得を決意。妻からの感謝の言葉や子ども達の笑顔から、家族のつながりがより親密になったような気がします。また、子ども達の成長する姿も目にすることができ、育休を取れたことは幸せでした。

### 育休取得経験者

設計監理部

佐々木 大さん

期間/76日



## 異なる育休の在り方、解決のプロセスを大切に

育休と一口に言っても、経営者側、言い換えると社会的立場と、各家庭側、同じく個人的立場からの見方とは、それぞれの状況や環境によって育休の在り方が異なるので、解決方法は一つではないと思います。しかし、そうした様々な課題を検討するプロセスを踏むことが解決への一助になると考えますので、そのプロセスを一つひとつ大切にしていきたいですね。

### 経営者から

代表取締役社長  
木皿 泉さん



### ミニトピック

## 取り組んでよかったこと

- 男性育休の理解が深まったことで、これまでは短い期間での取得実績しかなかったのですが、2か月半の育休を取得させることができました。
- 助成金等の申請のサポートをしていただいて、大変助かりました。
- 助成金等の活用についてアドバイスをいただき、育休取得者をサポートした方へ手当を支給する会社独自の制度を創設することができました。